

## 熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準（概要版）

### 1 福祉サービス事業者情報

#### (1) 事業者概要

事業所名称： 社会福祉法人 ころろ (施設名) 保育園ころろ	種別： 保育所
代表者氏名： (管理者) 川口 まり子	開設年月日： 平成28年11月1日
設置主体： 社会福祉法人 ころろ 経営主体：	定員： 110名 (利用人数) 126名
所在地： 熊本県上益城郡益城町大字寺迫1021-1	
連絡先電話番号： 096-273-9600	FAX番号： 096-273-9601
ホームページアドレス	<a href="https://hoikuen-cocoro.net">https://hoikuen-cocoro.net</a>

#### (2) 基本情報

サービス内容（事業内容）	施設の主な行事
保育	運動会、発表会
居室概要	居室以外の施設設備の概要
保育室6室	給食室、事務室、遊戯室

### 2 施設・事業所の特徴的な取組

<p>益城町の自然を生かし、外遊びを中心に、園庭ばかりではなく、あぜ道を通り川で魚を捕まえたり、草花や虫等に興味をもったりといろいろな体験をしながら帰ってきます。</p> <p>川で取った魚や虫等は飼育しています。</p> <p>以前、あぜ道で拾った亀の卵を孵化させたこともあります。</p> <p>マイクロバスで少し遠出をして山遊びや川遊び等もしています。</p> <p>園庭では気候によって裸足で遊び、どろんこ遊びをしています。</p>
--

### 3 評価結果総評

#### ◆特に評価の高い点

①子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

「ここを大切に」を保育理念とし、保育方針を「野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切に、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指します。」と明記し、取組まれています。職員には理念、保育方針を基にした「遊びが中心」、「例えば散歩に行った時も、ただ散歩に行くのではなく、そこで何かを見つける」などの説明をされていることがうかがえました。その実践として、例えば、子ども達と一緒に散歩に行った際に、「亀」の卵を見つけ、それを園に持って帰り育てるなど、様々な取組が実施できるように努められています。

②食事を楽しむことができるよう工夫をしている。

食に関する豊かな経験ができるように、園の畑で、米、ピーマン、オクラ、茄子、唐芋などを作られて、収穫した食材を提供されています。子ども達とJA（農協）まで出向いて、本格的な味噌づくりを学び、味噌開きの後、その味噌で豚汁を作って食べることで、保存食作りの一連の流れを体験されています。更に、クッキングでピザやきりたんぽなど工夫する手順を学びに取り入れています。

#### ◆改善を求められる点

「中・長期計画」の明文化とそれを踏まえた「（単年度の）事業計画」の策定

本園では、中・長期的なビジョンに基づく「中・長期の計画」、「（単年度の）事業計画」については明文化された計画の策定までは至っていませんでした。「中・長期計画」を策定し、それを踏まえた「（単年度の）事業計画」の策定が必要不可欠です。また、組織的な評価・見直しのためには、PDCAサイクルに基づき、事業計画の内容に、数値目標や具体的な成果目標などを設定し、評価の視点や手順、評価時期などの評価プロセスを明確にすることが求められます。策定された「中・長期計画」を職員に周知し共有化するための取組の工夫も期待されます。

### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

開園後8年目を迎え、初めて第三者評価を受審しました。

遊びを中心とした保育活動を高評価して頂き、嬉しく思います。

一方、改善点である「中・長期計画及び単年度事業計画」の明文化については、早急に取り組む所存です。

また、職員の自己評価ではそれぞれの思いを改めて認識させられましたし、保護者の要望では、思いがけないことや、成程と思うこともあり、職員とよく話し合っ、誰もが満足できる保育園を目指して行きたいと思ひます。

(別記)

(公表様式1)

## 熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準

## 【保育所版】

## ◎ 評価機関

名 称	NPO法人 九州評価機構
所 在 地	熊本市中央区神水2丁目5番22号
評価実施期間	R6年12月11日～R7年7月29日
評価調査者番号	① 12-004
	② 13-002
	③ 23-011

## 1 福祉サービス事業者情報

## (1) 事業者概要

事業所名称： 社会福祉法人 ころろ (施設名) 保育園ころろ	種別： 保育所
代表者氏名： (管理者) 川口 まり子	開設年月日： 平成28年11月1日
設置主体： 社会福祉法人 ころろ 経営主体：	定員： 110名 (利用人数) 126名
所在地： 熊本県上益城郡益城町大字寺迫1021-1	
連絡先電話番号： 096-273-9600	FAX番号： 096-273-9601
ホームページアドレス	<a href="https://hoikuen-cocoro.net">https://hoikuen-cocoro.net</a>

## (2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事					
保育	運動会、発表会					
居室概要	居室以外の施設設備の概要					
保育室6室	給食室、事務室、遊戯室					
職員の配置						
	職 種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤
	園長	1				
	保育士	12	13	保育士	12	13
	〃			幼稚園教諭	10	9
	看護師		2	准看護師		2
	調理	2	2	管理栄養士	1	
	〃			栄養士		1
	〃			調理師	1	2
	合 計	15	17	合 計	24	27

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

## 2 理念・基本方針

保育理念

「こころを大切に」

保育方針

「こころを大切に」を保育理念とし、野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切にし、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指します。保育活動では、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するよう努めます。

## 3 施設・事業所の特徴的な取組

益城町の自然を生かし、外遊びを中心に、園庭ばかりではなく、あぜ道を通り川で魚を捕まえたり、草花や虫等に興味をもったりといろいろな体験をしながら帰ってきます。

川で取った魚や虫等は飼育しています。

以前、あぜ道で拾った亀の卵を孵化させたこともあります。

マイクロバスで少し遠出をして山遊びや川遊び等もしています。

園庭では気候によって裸足で遊び、どろんこ遊びをしています。

## 4 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6年12月11日（契約日） ～ 令和 7年 7月 29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（平成・令和 年度）

## 5 評価結果総評

◆特に評価の高い点

①子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

「こころを大切に」を保育理念とし、保育方針を「野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切にし、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指します。」と明記し、取組まれています。職員には理念、保育方針を基にした「遊びが中心」、「例えば散歩に行った時も、ただ散歩に行くのではなく、そこで何かを見つける」などの説明をされていることがうかがえました。その実践として、例えば、子ども達と一緒に散歩に行った際に、「亀」の卵を見つけ、それを園に持って帰り育てるなど、様々な取組が実施できるように努められています。

②食事を楽しむことができるよう工夫をしている。

食に関する豊かな経験ができるように、園の田畑で、米、ピーマン、オクラ、茄子、唐芋などを作られて、収穫した食材を提供されています。子ども達とJA（農協）まで出向いて、本格的な味噌づくりを学び、味噌開きの後、その味噌で豚汁を作って食べることで、保存食作りの一連の流れを体験されています。更に、クッキングでピザやきりたんぽなど工夫する手順を学びに取り入れています。

◆改善を求められる点

「中・長期計画」の明文化とそれを踏まえた「（単年度の）事業計画」の策定  
本園では、中・長期的なビジョンに基づく「中・長期の計画」、「（単年度の）事業計画」については明文化された計画の策定までは至っていませんでした。「中・長期計画」を策定し、それを踏まえた「（単年度の）事業計画」の策定が必要不可欠です。また、組織的な評価・見直しのためには、PDCAサイクルに基づき、事業計画の内容に、数値目標や具体的な成果目標などを設定し、評価の視点や手順、評価時期などの評価プロセスを明確にすることが求められます。策定された「中・長期計画」を職員に周知し共有化するための取組の工夫も期待されます。

6 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

開園後8年目を迎え、初めて第三者評価を受審しました。  
遊びを中心とした保育活動を高評価して頂き、嬉しく思います。  
一方、改善点である「中・長期計画及び単年度事業計画」の明文化については、早急に取り組む所存です。  
また、職員の自己評価ではそれぞれの思いを改めて認識させられましたし、保護者の要望では、思いがけないことや、成程と思うこともあり、職員とよく話し合っ、誰もが満足できる保育園を目指して行きたいと思ひます。

7 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(参考) 利用者調査の手法等

調査の手法	対象者	対象数(人)	基準数に満たない場合の理由
アンケート調査	利用者本人	54	
	家族・保護者		
聞き取り調査	利用者本人		
	家族・保護者		
観察調査	利用者本人		

## 第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「こころを大切に」を保育理念とし、保育方針を「野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切にし、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指します。保育活動では、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する為、子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するよう努めます。」としてホームページや事業計画などに明文化されています。職員には理念、保育方針を基にした「遊びが中心」などの説明をされていることがうかがえました。保護者には、見学时や入園式、説明会などで理念や保育方針に基づいた園の保育環境の特徴について説明されていることがうかがえました。</p> <p>今後は、職員への周知や理解を深めるための取組の工夫が期待されます。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の月刊誌の購読や地域の園長会に参加し、社会福祉事業全体の動向や地域の福祉ニーズの把握に努められています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>今後のビジョンとして「子ども達の遊び場を充実させたい」「療育の子が増加しているので、何か仕組みを作りたい」「農薬を撒いていない田んぼ・畑で子ども達を遊ばせたい」などを確認いたしました。経営課題として、人材の確保などを確認いたしました。</p>		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期的なビジョンについて、口頭で確認しましたが、計画の明文化までは至っていませんでした。この項目は明文化が無い場合は、第三者評価基準によりc評価となります。</p> <p>今後は、中長期的なビジョンを明確にした計画と収支計画の策定が期待されます。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>この項目は前項目で中・長期計画の明文化がない場合は、第三者評価基準によりc評価となります。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「(単年度の)事業計画」の明文化までは至っていませんでした。この項目は「(単年度の)事業計画」の明文化がない場合は、第三者評価基準によりc評価となります。</p> <p>今後は、「(単年度の)事業計画」が職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されることが期待されます。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「(単年度の)事業計画」の明文化までは至っていませんでした。この項目は「(単年度の)事業計画」の明文化がない場合は、第三者評価基準によりc評価となります。</p>		

### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は、毎年の「自己評価シート」に基づいて、今年一年の振り返りと次年度に向けての取組を考えます。それを基に園長が一人ひとりと面談を実施されていることがうかがえました。ヒヤリハット報告書は、提出されたら、主任と園長が確認、朝礼や職員会議で職員との共有に努められています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士は、毎年の「自己評価シート」に基づいて、今年一年の振り返りと次年度に向けての取組を考えます。それを基に園長が一人ひとりと面談を実施されていることがうかがえました。</p>		

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、自らの役割と責任について職務分担表に明文化されています。有事における園長の役割と責任について、「非常災害対策計画」などに、不在時の権限委任などを含め明文化されています。</p> <p>今後は、自らの役割と責任を含む職務分掌などについて、職員に対して、会議や研修において表明するなど、より一層の理解を深めるための取組が期待されます。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長が遵守すべき法令等を理解する場として、地域の園長会があります。必要に応じて、職員会議で、職員に対して遵守すべき法令等の周知に努めていることがうかがえました。</p> <p>職員の自己評価から、取組のより一層の向上を望むような意見を感じられる為、今後は、職員の自己評価をより一層高めるような取組の工夫が期待されます。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は保育の質の向上について、音楽教育の会、全国保育問題研究集会、熊本保育問題研究集会の部会を通じて、職員の教育・研修の充実を図られています。</p> <p>今後は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築するなど、より一層の取組の工夫が期待されます。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、保育方針である、野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切に、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指しておられます。このことの実現に向けて、人員配置や環境整備などに取組まれています。職員は自分の考えで遊びを展開することを園で取組まれています。例えば、子ども達と一緒に散歩に行った際に、「亀」の卵を見つけ、それを園に持って帰り育てるなど、様々な取組が実施できるように努められています。</p>		

### II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人として、福祉人材確保のために、ハローワークや職員からの紹介などを実施されています。</p>		



15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          法人の理念、基本方針にもとづき「求める人物像」として、『自ら考え実行できる「積極性」のある人。「柔軟性」をもって業務を遂行できる人。グローバルな視点から遊びを展開できる「外向性」のある人。』と明文化されています。就業規則については、入職時に周知に努められていることがうかがえました。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	<b>⑦</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;          毎年、職員との個別面談を実施されています。職員が休みを取りやすく、終業時間を調整しやすいように努められています。職員の有給休暇の取得状況などは事務長が把握されています。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ <b>⑧</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          保育士は毎年「自己評価シート」に基づいて、今年一年の振り返りと次年度に向けての取組を考えます。それを基に園長が一人ひとりと面談を実施されていることがうかがえました。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ <b>⑨</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          園内研修は園長と主任が現在園で必要と思う内容を実施されています。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ <b>⑩</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          外部研修に関する情報提供は全職員に実施し、職員が参加を希望した場合と、園から行った方がよい人に声かけをして、研修に参加されるように取組まれています。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>⑪</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          実習生の担当は主任です。学校側と、実習内容について連携して、学校のプログラムをベースにされています。          今後は、自習性の保育に関わる専門職の育成についてのマニュアルの整備などが期待されます。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ <b>⑫</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          ホームページを活用し、理念や保育方針、保育の内容、予算（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書）を公開されています。保育の内容は SNS を活用されています。</p>		

22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          定期的に内部監査を実施されています。労務士や事務長に会計事務所の職員を採用されて、必要に応じてアドバイスを得られるようにされています。</p>		

#### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          子どもと地域との交流として、地域の祭りに参加し、初詣や田植え、芋ほりなどを実施されています。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          学校教育への協力として、中学校の職場体験事業（ナイストライ）やインターンシップなどを受け入れられています。          今後は、ボランティア受入れについて、登録手続き、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルの整備が期待されます。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          関係機関として、療育施設、町の巡回相談、町の支援事業所と連携し、それらと情報共有や相談を行い、適切な対応に努められています。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          地域の福祉ニーズ等を把握するための場として、地域の園長会に参加されています。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・ <b>ⓒ</b>
<p>&lt;コメント&gt;          地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動については、確認ができませんでした。          今後は、地域の福祉ニーズにもとづく取組が期待されます。</p>		

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念や保育方針に子どもを尊重した保育の実施について明示されています。保育について何かあれば、朝礼や職員会議で話し合い、子どもを尊重した保育が提供できるように努められていることがうかがえました。</p> <p>今後は、子どもを尊重した保育について、職員がより一層の共通の理解を深めるための取組が期待されます。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・b・ <b>③</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記したマニュアルなどの整備までは至っていませんでした。</p> <p>今後は、マニュアルなどを整備し、職員への研修により理解を図られることが期待されます。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページやSNSを活用して、利用希望者に対して情報提供に努められています。見学は園長か主任が対応されて、丁寧な説明に努められています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の提供を開始するにあたり、入園前に保護者向けの入園説明会や個人面談を実施し、保護者より、重要事項説明書の内容について説明を受けたことの同意書を取られています。保育の変更にあたり、一斉メールを送り、クラスからのおたよりに「お知らせ」「お願い」として明記して、保護者に説明されています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>転園する場合、保護者等の同意を得て、保育の継続性に配慮して、この園での援助方法や取組を要録にまとめて、伝えられています。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、保護者会が実施されて、意見を聞く機会を作られていることがうかがえました。</p> <p>今後は、意見箱の設置や、保護者に対し普段の保育やイベントなどの利用者満足に関するアンケートなどが定期的に行われることが期待されます。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「苦情解決のための窓口などの設置」についてを策定されています。苦情解決の体制が整備されており、「重要事項説明書」の「要望・相談・苦情などの受付」に、受付担当者を明記し、入園説明会などで周知に努められています。</p> <p>保護者が第三者委員に直接相談するような仕組みが確認できなかったため、今後は、保護者が直接第三者委員に相談しやすいような取組の工夫が期待されます。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「重要事項説明書」の「要望・相談・苦情などの受付」に、担当者を明記し、担当者が不在の場合は、本園職員までお申し出ください。本園では、上記のほか、直接面談、連絡ノートでもお受付いたします。と明記されています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者が職員に相談や意見を行った場合、職員は主任にその事を連絡し、対応されていることがうかがえました。</p> <p>今後は、意見箱の設置やアンケートの実施、相談や意見を受けた際の対応などについて定めたマニュアルの整備などが期待されます。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園内研修で「救急法研修」を実施し、事故発生時の対応について、職員に周知に努められています。ヒヤリハット報告書はクラス毎に書いて置く場所を設けています。ヒヤリハット報告書は主任がまとめ、園長に報告されていることがうかがえました。</p> <p>今後は、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集について、収集した事例を基に、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施するなどの取組の工夫が期待されます。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「衛生管理マニュアル」を策定されています。園内研修で「感染性胃腸炎の嘔吐処理について」を実施し、職員の周知に努められています。感染症について保護者への情報提供として、クラスの便りや事務所内掲示で周知に努められています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「非常災害対策計画」を実施されています。「災害安全訓練年間計画」を策定し、火災・地震・水難・防犯について、避難訓練を実施されています。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法について、「掃除担当表」「不審者対応マニュアル」「衛生管理マニュアル」などを策定されています。</p> <p>今後は、標準的な実施方法について、研修や個別の指導などによって職員に周知徹底するための取組の工夫が期待されます。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法について、必要に応じて見直しをされていることがうかがえました。</p> <p>今後は定期的（年に1度程度）の検証・見直しを実施するための取組の工夫が期待されます。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画に基づいて指導計画は各クラスで作成されていることがうかがえました。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画は各クラス毎に作成し、自己評価を担当が行い、その後園長と主任に提出し、定期的に評価・見直しをされています。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎日の情報はパソコンのアプリを使っての共有や朝礼での共有、早番・遅番についてクラス毎のボードの記載で共有に努められています。ボードには何かあれば備考欄に記載するようにされていることがうかがえました。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「重要事項説明書」に守秘義務及び個人情報の取り扱いについて明記され、取組まれています。</p>		

## <内容評価基準>

### A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;            全体的な計画について、前年度を振り返り、主に主任が見直しをした後に後に、園長へ提出されています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;            園庭は広く、子ども達が遊べる場所を設置されています。園舎は圧迫感がないように天井を高くされています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	<b>①</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;            「こころを大切に」を保育理念とし、保育方針を「野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切にし、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指します。保育活動では、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する為、子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するよう努めます。」としてホームページや事業計画などに明文化されて、取組まれています。子どもの対応で悩んだときは、職員会議で話し合い、園として対応するように努められていることがうかがえました。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;            園での様子や家庭での様子を確認し、子ども一人ひとりの能力を確認し、子どもへの生活習慣を身につける為の園の取組を保護者に伝え、連携するように努められていることがうかがえました。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	<b>①</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;            「こころを大切に」を保育理念とし、保育方針を「野外活動や遊びをテーマに、山・川などで自然に触れることを大切にし、子ども達が自然体でのびのびと成長できる環境づくりを目指します。」と明記し、取組まれています。職員には理念、保育方針を基にした「遊びが中心」、「例えば散歩に行った時も、ただ散歩に行くのではなく、そこで何かを見つける」などの説明をされていることがうかがえました。その実践として、例えば、子ども達と一緒に散歩に行った際に、「亀」の卵を見つけ、それを園に持って帰り育てるなど、様々な取組が実施できるように努められています。今後のビジョンでも「子ども達の遊び場を充実させたい」、「農薬を撒いていない田んぼ・畑で子ども達を遊ばせたい」などを掲げ、実現に向けて取組まれていることがうかがえました。</p>		

A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>乳児(0歳児)の保育において、大切にしていることとして、①子どもと職員が信頼関係を築くこと、②安全面に注意(特にSIDS)、③アレルギーへの対応、④体調の変化などをうかがいました。0歳児から外に出るよう取り組まれています。リズム運動(ピアノの演奏に合わせて体を動かす)と、わらべ歌に力を入れていることがうかがえました。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>1歳児の保育において、大切にしていることとして、0歳児に追加して、①足を強くする散歩、②生活習慣を身につけるトレーニング(トイレトレーニングなど)、③自分でご飯を食べることなどをうかがいました。</p> <p>2歳児の保育において、行動範囲が広がり、例えば散歩でも、川沿い、公園向こうの田んぼ、あぜ道を行くなどがあり、職員は、川で魚を捕まえる、亀の卵を発見するなど、そこで子どもと一緒に遊ぶことを大切にするようにするように努められていることがうかがえました。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>3歳児の保育において、園として最近の子ども達は、おとなしすぎると考え、それを発散させるところをスタートされていることがうかがえました。野外活動、体操教室などに力を入れていることがうかがえました。4歳児の保育において、トイレや着替えが自立するところになります。自然の体験をいっぱいしてもらうように努め、外に行くことを考え、お泊り保育などを始められます。色々な体験をしてもらうために、例えば三角町にピザを作りに行くことや、園にもピザ窯を作られています。5歳児保育において、自分のことは自分であることを大切にしています。集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされるように努め、友達と協力することや、もしも、子ども同士がけんかなどをした場合も、職員はまずは様子を見て、自分たちで解決できないかを確認し、暴力行為がある場合など職員が間に入った方が良かった時に入るように努められています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>障がいのある子どもの対応について、療育施設などの情報共有や巡回相談の活用、困り感がある時に職員会議で話し合い、適切な対応に努められています。担当者は外部で障がい児の研修があれば、参加し、必要な知識や情報を得るよう努められています。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者とは連絡帳を通じてそれぞれの子どもの生活を把握されています。起床時間や生活リズムに配慮して、0～2歳児は朝おやつ提供や、在園時間が長い子どもには18時におやつ提供が行われています。入園後、午前中に眠そうな様子の子どもの場合には、その子に合わせて少しの時間でも睡眠を取るよう努められています。</p>		

A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てるように、授業参観や小学校に体験入学に行き、12月頃から昼寝を減らして、止めるように努められています。小学校の先生が園に見学に来られています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          子どもの健康管理に関するマニュアルとして、衛生管理マニュアルを策定されています。乳幼児突然死症候群（SIDS）を予防するために、5分おきに午睡チェックをするように努められています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          入園時及び年2回の内科検診、年2回の歯科及び口腔健診、月1回の身体測定を実施されて、保護者などに報告されています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          食物アレルギーに対しては、給食は除去食にし、提供するお盆を混合しないようにわけて、ラップと札を付け、食べる際のテーブルを分けるようにされています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	<b>①</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;          食に関する豊かな経験ができるように、園の田畑で、米、ピーマン、オクラ、茄子、唐芋などを作られて、収穫した食材を提供されています。子ども達とJA（農協）まで出向いて、本格的な味噌づくりを学び、味噌開きの後、その味噌で豚汁を作って食べることで、保存食作りの一連の流れを体験されています。更に、クッキングでピザやきりたんぽなど工夫する手順を学びに取り入れています。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	<b>①</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;          献立は食材を豊富に取り入れて、品数を数多く出し、食に関する経験を増やすように努められています。食材を大切に調理方法で小さく切りすぎないようにしています。以上児クラスでは素材感を味わい持たせるように工夫されています。また、魚はあえて骨付きのまま調理し食するようにされていることがうかがえました。職員は子どもと一緒に食卓を囲み食事を摂り、「美味しいね」などの声かけをして、安心して楽しい食事を心がけています。食事は無理をして完食させるのではなく、苦手な食材の場合は声かけで少しでも食べられたら褒めるように努められていることがうかがえました。</p>		



## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭との日常的な情報交換は連絡帳や送迎時の会話などで行われていることがうかがえました。保護者と子どもの成長を共有できるように、親子ふれあい参観、運動会、発表会、夏祭り、クリスマス会などを行われています。夏祭りは、親子の出し物や園庭でバザー、キッチンカーによる提供があります。クリスマス会は、昼過ぎ頃からバザー、夜間点灯など実施されています。夏祭りとクリスマス会は、保護者の手伝いがあり職員と一緒にイベントを実施しています。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くように努め、必要に応じて個別面談を実施されています。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待など権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの園での雰囲気や着替えの際などに身体の状態を確認するように努められています。虐待等権利侵害となる恐れがあると職員が感じた場合や、速やかに園内で情報を共有するように努められています。</p> <p>今後は、虐待等権利侵害を発見し、発見した場合の対応などについてのマニュアルの整備と、マニュアルにもとづく職員研修など、より一層の職員の理解を深めるための取組の工夫が期待されます。</p>		

## A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士等が保育実践の振り返りなどを行う場として、保育問題研究集会があります。そこでは、園で行っていることの発表や提案や園で困っていることに対して、参加している他園の職員から意見を受けることができます。そこで話し合った内容は、職員会議を通じて全職員に周知に努められていることがうかがえました。</p> <p>今後は、聴き取りでも話されていた、園での勉強会や検討会の実施など、より一層の取組の工夫が期待されます。</p>		

(参考)

	第三者評価結果		
	a	b	c
共通評価基準（評価対象Ⅰ～Ⅲ）	2	37	6
内容評価基準（評価対象A）	8	12	0
合 計	10	49	6